

平成28年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立青少年教学の森野外活動センター
指定管理者	一般財団法人 大阪府青少年活動財団
指定期間	平成23年4月1日から平成33年3月31日
施設概要	敷地面積：265,000㎡ 管理棟：鉄筋コンクリート3F延べ床面積1,730㎡ 本館：鉄筋コンクリート2F延べ床面積918㎡ 宿舍7室（定員56名） 第1キャンプ場：常設テント18張（定員180名） 第2キャンプ場：ロッジ5棟（定員50名） 第3キャンプ場：テントスペース10箇所（定員50名） その他場内駐車場・水道関係ポンプ場・給水タンク（一部場外）
市支出額	年額39,013,714円

2. 事業の実施状況

施設、附属設備等の維持管理	年間計画に基づき、職員による日常点検をはじめ、建物・水道設備・エレベーター・消防設備・電気設備については、各業者と委託契約を結んで定期的な点検を実施しました。。簡単な補修・改修は職員の手により行いました。
備品整備	年間175万円の予算で10ヶ年計画にそって更新を行っています。28年度は、業務に使用するデジタルカラー複合機とノートパソコン2台、主催事業で使用する給食用食器の他、第2キャンプ場用冷蔵庫、プログラム用天体望遠鏡2台を更新、新規購入しました。
利用促進	ホームページやフェイスブック・ブログなどのSNSの活用、「お出かけ情報ポータルサイト」への投稿など、webでの情報発信を心がけました。財団ホームページに掲載している空き情報からの利用問い合わせが引き続き目立っています。また毎月第4金曜日にタッキー816のスタジオゲストとしての出演、市内公共施設へのチラシ配架など、市民向けの情報展開も継続して実施しました。
主催事業	自然に親しみながら友達作りができ、体力の増進を狙った幼児や子ども向け事業の展開と、ファミリー向けのアウトドアクッキングや日帰りキャンプファイヤー、落ち葉のプール等、手軽に自然体験・野外体験ができる事業を積極的に開発し、実施しました。また年2回(10月・3月)事業参加者を対象に「思い出写真展」を実施し多くの保護者の方が来場されました。
キャンプカウンセラー育成	年間計画に基づき、グループワークなどのコミュニケーションのワークショップ、アウトドアスキルの向上を目指した実技および理論の研修、また救命救急法や避難誘導・消防訓練など万が一に備えた研修、食品の安全に関する研修、場内整備に伴う器具の扱いについての研修を実施しました。勧誘活動にも取り組みを強化し、28年度は新人カウンセラー43名の登録を得、登録総数も73名となりました。29年度も新人約30名が登録し、総数70名となっております。
収支	年間2万人の利用を目標に施設使用料とプログラム料および事業参加費を収入としています。
人員配置	所長以下6名の職員で、利用対応、施設管理、主催事業等関連する業務、キャンプカウンセラーの育成、また危機管理体制の確立ができるよう配置しました。
職員研修	箕面市の人権研修参加をはじめ、財団主催の研修や他施設の視察、野外活動技術向上のための講習会や他施設との情報交換会などに積極的に参加しました。

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	おおむね9割の満足度を得ておりますが、トイレやシャワー室の衛生面や利便性の向上など快適性を求められる声があり、清掃の回数や内容を見直し、少しずつではありますが改善を図っているところです。カウンセラーに対して好意的なご意見を頂いておりますが、最盛期の夏休みに大学生の試験が重なることや、小中学校の2学期が8月末には始まるなど、ご期待に添える期間が短いのが現状です。 別紙参照（項番3・4）
-------------------	--

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	何度もご利用いただく中で、施設や自然景観の移り変わりや、カウンセラーの対応の違いなどもお話しいただき、連続した目で見られないご意見・ご指摘をいただくことができました。また、エアコンのカビ臭や寝具の湿気等、耳にされた情報もお伝えいただきました。これらを踏まえた対応を行い、次の新たなステップを目指したいと思っております。
-------------------	---

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	アンケートや意見交換会でいただいた意見を、「①ただちに改善できること」、「②研修や予算措置等をもって改善できること」、「③制度的、物理的にできないこと」、「④センター運営のポリシーとしてあえて行わないもの」の4つに分類し対処していきたいと考えています。特にトイレ・シャワーの快適化、備品の更新等を積極的に実施していきます。 別紙参照（項番3・4・5）
------------------	--

4. 収支状況

28年度も2万人を超える方にご利用いただくことができました。主催事業への応募が多く定員を増やして実施したことや、プログラム消耗品の売り上げが増加したため、事業参加費やプログラム料が好調で収入を押し上げました。 支出は、1年目のカウンセラーの応募者が多く採用数が増え、また活動も活発になったことから、報償費の支出が多くなりました。Wifi環境を整備したことから、委託費も支出が多くなりました。 (事業報告書参照)

5. 特別提案の状況

施設のシャワーの改修及び温水化	23年度完了
ロッジへのエアコンの設置	24年度完了
第1キャンプ場 指導者用テントの改修	テント台補修工事の対象に、指導者用テントへ改修を予定していたテント台が該当したため工事が伸びておりましたが、No.1とNo.18テントに照明設備と電源、簡易ベッド、テーブル、イスを設置した「指導者用テント」への改装が完了しました。
危険木及び間伐の実施	危険木の撤去を優先に7月と11月の2回実施。またナラ枯れ被害への対応に加え、枯れ松などの危険木の除去や間伐の伐採等においても、風と光が届くよう計画的に業者契約で実施しました。